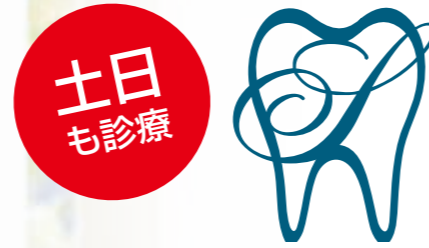


鈴木歯科クリニック



Tel. 0476-33-6990

院長あいさつ

「よく噛める」ことは、食べ物を身体に吸収しやすくするだけでなく、全身を活性化させる重要な働きをしています。鈴木歯科クリニックでは、虫歯の治療はもちろん、歯科治療の基本となる歯周病治療にスタッフと共に「チーム医療」で取り組んでいます。出来る限り自分の歯を残し、不幸にもなくなってしまった歯のところは、インプラントや義歯を用いて「よく噛めるお口」をとり戻せることを目指しています。「お口の健康」から「全身の健康」へと、皆様が日々、楽しい食生活や人生をおくる事が出来るように、スタッフと共に取り組んでおります。

鈴木歯科クリニック 院長 歯周病専門医 鈴木 一成

矯正担当医あいさつ

きれいな歯並びは、将来にわたってお口の健康維持に貢献します。子どもの矯正治療は萌出している前歯を中心とした部分的な歯の配列や顎の成長を使用した治療を行います。お子さまの最適な治療のタイミングを判断して開始する必要があります。一方、大人の矯正治療は何歳だからできないというものではなく、歯や歯の周りの骨の状態を見極めながら治療の方針を決めてゆきます。お気軽にご相談ください。

大学病院 准教授 日本矯正歯科学会認定医・指導医 山口 泉田
大学病院 医員

Information

鈴木歯科クリニック

〒270-1334 千葉県印西市西の原2丁目2-1
カスミ西の原店 テナント棟



◎アクセス 北総線 印西牧の原駅 徒歩13分 バス2分

- 診療のご案内
一般歯科／小児歯科／予防歯科
歯周病治療／歯科口腔外科／インプラント
義歯(入れ歯)／審美歯科／矯正歯科

■各種保険取扱い

■予約制

■初診・急患随時受付

■診療時間

月・火・木・金 9:30～13:00 14:30～19:00
土・日 9:30～13:00 14:00～16:30

■休日 水曜日・祝日

■大型駐車場完備

■各種クレジットカード取扱い



(自由診療のみのご利用となります)

<http://inzai-suzuki.com>

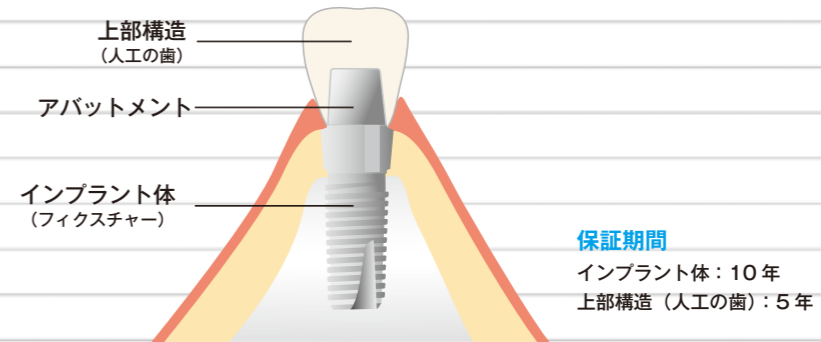
歯周病専門医が行うインプラント治療は 何が違うのか？

一般的な歯科医師が欠損した部位へのインプラントを検討する場合、施術できる十分な骨量があるかどうかポイントになります。一方、歯周病専門医がインプラントを検討する場合、欠損した部位以外の残存歯が歯周病にかかっているか否か、埋入したインプラントへの新たな感染源になるリスクの高さが施術のポイントになります。仮に残存歯の状況が良くない場合は、徹底的に歯周病治療を行い、お口の環境を改善してからインプラントを施術します。インプラント先進国の北欧や欧米では、歯周病専門医がインプラントの施術を行うことから、いかにインプラントはお口の環境に影響されるかを示唆しています。なぜかと言うとインプラントを入れても、きちんとしたケアをしていかないとインプラントも歯周病にかかってしまうからです。

当院では、歯周病専門医が感染症の原因となる歯周病を完全にコントロールした上で、お口全体の状態を考えたインプラント治療を行います。お口の環境を改善することで、長期間のインプラントの使用が可能になります。そのため、歯周病に悪影響を及ぼす喫煙者には、基本的にインプラント治療をおすすめしていません。また、生活習慣病をお持ちの方には、全身との兼ね合いを考慮してインプラント治療を検討させていただきます。

なぜ？ インプラント治療を行うの？

歯周病専門医の視点から、インプラント治療の目的の一つは残っている天然歯を守るために行うものだと考えています。一般的に、インプラント治療は咬み合わせを回復するために行うものだとされています。もちろんそれに間違いはないのですが、当院では、インプラントは咬み合わせが悪いと歯周病になりやすいという因果関係を断ち切るための有効な治療であると位置づけています。インプラント治療をすることで、咬み合わせが回復し、残っている天然歯への負担を軽減させ、歯周病にかかるリスクを減らします。つまり、インプラントは歯周病の罹患がリスク因子の一つとされる循環器や糖尿病などの全身疾患の予防にも寄与する治療なのです。



カウンセリングやご質問は、随時受け付けております。まずは、お気軽にご相談ください。

削ってつめての繰り返しは、おしまいにしませんか？

新生活が始まる季節ですね。入園、入学、入社を迎えられた皆さん、おめでとうございます。新生活を迎えた心境はいかがでしょう。ぜひ新しい環境で楽しい新生活を謳歌してください。

痛いときだけ来院する 治療型受診の場合(6才臼歯の虫歯の進行)



痛くなったら歯科医院に行き、治療する。この繰り返しでは、いずれ歯はなくなってしまうこと、ご存知でしたか？大切なのは、歯がなくなる原因を知りメンテナンスをすることです。

歯科検診の大切さ

たかが歯科検診、されど歯科検診：ということで、歯の定期検診(メンテナンス)の重要性についてお話ししてみたいと思います。一般的に歯医者さんにかかる時は「痛い」とか「違和感がある」など自覚症状がある場合が多く、歯医者さんというのは症状が出てから行くところですよ。

しかし最近の歯医者さんは自覚症状がなくても定期的に「お口の中を見せに来てくださいいね」という定期検診を勧められています。これは決して歯医者さんがお金を儲けようと思っ言っているわけではありません。ひとえに患者さんのためを思っていることなのです。どういうことなのでしょう。

それは口の中や歯に関わる病気は生活習慣病だからです。高血圧や糖尿病のような生活習慣病は自分では症状が把握できませ

ん。血圧測定や血液検査をこまめにしないと変化がわからないように、歯の病気も初めは自覚症状がないことが多く、歯の病気が出てくるのはかなり進行してからです。具体的には、虫歯であれば歯の神経(歯髄)に虫歯菌が感染して痛みがでる、歯周病であれば歯ぐき下がってきて歯がグラグラする、痛みや出血、歯の違和感があるといたケースがほとんどです。ですので、そうなる前に、虫歯も歯周病もこまめな検査が必要になるのです。それでは歯の定期検診というのはどういったものなのでしょうか。

メンテナンスの流れ

当院での定期検診(メンテナンス)の流れをご紹介します。

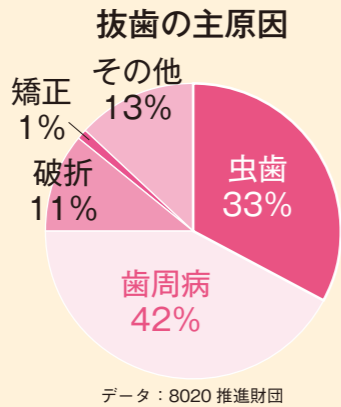
- ① 歯のチェック
虫歯、合っていない詰め物やかぶせ物、歯のすり減りや亀裂等の異常の有無
- ② 歯ぐきのチェック
歯石、歯ぐきの赤みや腫れ、出血等の異常の有無、歯周ポケット深さのチェック等
- ③ 歯磨きのチェック
磨き残り、磨き過ぎ
- ④ 歯のクリーニング
歯磨きでは落としきれない汚れを取り除く

歯の病気は生活習慣病

また、歯の病気は生活習慣病と言いますが、歯の病気は全身の病気とも関連しています。虫歯菌や歯周病を引き起こす細菌が原因で、心内膜炎などの心臓疾患になったりすることもありますし、歯周病が進んでいる妊婦さんでは早産のリスクがそうでもない妊婦さんの7倍も高くなるという報告もあります。ですので、定期検診を受けてチェックし、進行してしまつた所は早いうちに治療をしていくことが、全身の健康にもつながるのです。

歯で痛い思いをしたい人がいないように、患者さんに痛い思いをさせたい歯医者さんはいません。苦痛で顔がゆがみづらい思いをされる患者さんを見たくない思いで、歯医者さんはメンテナンスを勧めるのです。また、痛い歯を放置しておく歯医者さんに怒られると考える患者さんもいらっしゃいますが、全くそんなことはありません。放置すれば歯を失うリスクがありますし、安心して治療が受けられる環境作りを当院は心がけておりますので、ぜひご相談ください。

むし歯と歯周病を防ぐためには？



ポイント① 原因を除去する (プロフェッショナルケア)

虫歯と歯周病が発症しないように、細菌のかたまりである歯垢(プラーク)を除去してメンテナンスを行い、お口の中の環境を整えること。

ポイント② リスクを知る

患者さん一人ひとりの現状、虫歯・歯周病のなりやすさを理解していただくこと。

ポイント③ 継続的なケアを行う (セルフケア)

患者さん自身が自分の歯に関心を持ち「自分の歯は自分で守っていく」という意識のもと、家庭でケアを行うこと。

ここで虫歯を例に挙げてみましょう。

メンテナンスで虫歯が見つかる場合、小さな初期虫歯の段階が多いのですが、治療しません。経過を追って大きくなるようなら治療し、そのままの状態であれば治療はしません。治療する場合は1〜2回で終了します。

定期検診(メンテナンス)を行っておらず、虫歯で痛みがでた歯の場合、歯の根の治療が必要になることもあり、1本の歯の治療が終了するまで6〜8回になることがあります。

治療に必要な時間も違いますが、歯を治療した後の経過も違います。根の治療をした歯はもろくなり、根が割れやすくなります。根が割れると歯を抜くという選択肢が多くとられ、次は入れ歯かブリッジ、インプラントというように次々と治療が必要になっていきます。

この悪循環を断つためにも定期検診(メンテナンス)での細かなチェックが大切なのです。